

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード 5-3-2		事業名 自転車利用適正化対策事業	
担当 市民まちづくり局総合交通計画部交通計画課 菅井 211-2275			
全 体 計 画			
事 業 内 容	近年増加が著しい自転車利用について、交通手段としてのあり方や交通機関との連携等について市民も交えた議論を行い、その中で自転車の走行空間、駐車対策、利用ルール・マナー等の考え方を総括した、(仮称)自転車利用総合計画の策定を行う。		<年度別の事業内容>
			【平成19年度】 (仮称)自転車利用総合計画策定に向けた調査・検討 【平成20年度】 (仮称)自転車利用総合計画の素案作成 【平成21年度】 (仮称)自転車利用総合計画策定 【平成22年度】 アクションプログラム策定
事 業 内 容 ・ 量 ・ 場 所 ・ 規 模 ・ 件 数 等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)
	自転車利用に関する市政世論調査の実施 自転車利用に係る現況調査の実施 庁内係長WGによる検討実施 附置義務条例の他都市事例調査		学識経験者、関係行政機関、市民などで構成された「自転車利用のあり方検討会議」を設立し、会議を開催(本会議2回)
平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
「自転車利用のあり方検討会議」の開催(本会議5回、部会4回) 「自転車利用のあり方検討会議」提言(案)のとりまとめ 市民フォーラムの開催		「自転車利用のあり方検討会議」提言書の手交 (仮称)自転車利用総合計画の素案を策定 パブリックコメントの実施 計画の策定 アクションプログラムの検討	

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-2			事業名	自転車利用適正化対策事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
(仮称)自転車利用総合計画の策定	調査、検討	調査、検討	調査、検討	調査、検討	策定	策定 (21年度)	
駐輪場附置義務条例の適用対象施設拡大	調査等	調査等	調査等	調査等	調査、検討	条例改正 (21年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 これまでに、市政世論調査の実施や「自転車利用のあり方検討会議」における公募市民委員の募集、市民フォーラムの開催により、市民への情報提供や協働・参画に取り組んでいる。 平成22年度は、計画素案を策定し、パブリックコメントを実施により、市民参加の機会を設ける予定。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 該当なし [人材協力] 該当なし [情報協力] 該当なし [その他の協力] 該当なし 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 該当なし</p>							
評価(成果)				課題			
<p>平成19年度は、計画策定に向け、市政世論調査で自転車に対する意識調査などを行い、計画策定に向け基礎的な情報を収集、検討を行った。 平成20年度は、「自転車利用のあり方検討会議」を設立し、現状・課題、走行空間についての議論を行った。 平成21年度は、検討会議において、課題解消に向けた考え方や方向性について議論を行い、提言(案)を取りまとめた。</p>				<p>自転車利用の位置づけや、公共として行うべき整備の水準など、札幌市としての自転車に対する方針を明確化する必要があるが、市民の自転車利用にはさまざまな意見、ニーズがあるほか、少子高齢化による今後の社会構造の変化など、さまざまな要因を踏まえながら、計画を策定することが、今後の課題である。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>(仮称)自転車利用総合計画を策定の上、自転車走行空間や駐輪場の確保、自転車走行マナーなどについてのアクションプランを検討・策定し、実施する。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-2		事業名	自転車利用適正化対策事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	7,000	8,000	8,000	7,000	30,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	7,000	8,000	8,000	7,000	30,000		
予算	事業費	7,000	7,000	7,000	3,200	24,200	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	7,000	7,000	7,000	3,200	24,200		
実績	事業費	6,557	5,294	5,489	-	17,340	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の	0	0	0		0	
一般財源	6,557	5,294	5,489		17,340		
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				68.5%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体) 「自転車利用のあり方検討会議」において、諸課題の解決に向けた議論を深めることとしたため、達成目標が1年ずれ込む見込みである							
[19年度]							
[20年度] 会議の設立が年度の後半となったため、会議開催回数、調査項目の減(7,000千円 5,294千円)							
[21年度] 調査項目の減(7,000千円 5,489千円)							
[22年度] 調査・検討項目の減							